

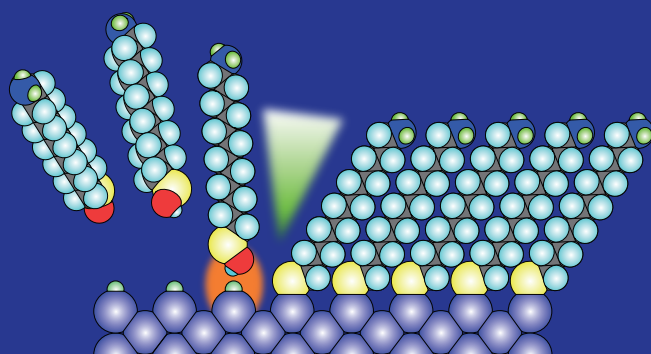
2024年 第 71 回 応用物理学会春季学術講演会 シンポジウム

古くて新しい自己組織化・自己集積化

Physical chemistry and recent advances in self-assembly

2024 年 3 月 24 日 13:30 ~ 17:10 (予定)

分子をはじめとする微小要素が自発的に集合し、規則的な配列を形作る自己組織化・自己集積化は、ボトムアップナノテクノロジーの鍵であり、生命現象のモデルともなります。本シンポジウムでは、自己組織化・自己集積化の物理化学研究を振り返るとともに、本分野の基礎研究・応用研究の最先端で活躍されている研究者に最新の研究をご講演頂きます。
みなさまのご参加と一般講演の投稿をお待ちしております。



招待講演者 (敬称略)

杉村 博之 (京都大学)

「自己組織化と自己集積化による有機単分子膜・多層膜形成」

手老 龍吾 (豊橋技術科学大学)

「脂質二重膜における新規二次元ドメインの形成とその応用」

藤井 慎太郎 (東京工業大学)

「プローブ顕微鏡による自己組織化・自己集積化膜の研究」

横田 泰之 (理化学研究所)

「自己組織化単分子膜を活用した電気化学界面の微視的探索」

渋谷 昌弘 (大阪公立大学)

「自己組織化単分子有機薄膜の超高速光励起ダイナミクス」

問い合わせ

一井 崇 (京都大学)

ichii.takashi.2m@kyoto-u.ac.jp